

第36回京都市地域リハビリテーション交流セミナー

「夫が脳で倒れて

～仕事復帰(社会参加)へのステップ～」

50代で脳梗塞を発症した夫の復職までを綴った「夫が脳で倒れたら」の著者とご本人のお二人をお招きし、復職までの実際について当事者、家族の立場から語っていただくほか、地域で障害者の就労支援をしている方々を交えたシンポジウムでは、支援の現状や課題などについて情報・意見交換をしながら、社会参加(復職)について考えます。

日時

令和2年2月20日(木)

午後2時～午後4時15分(午後1時30分開場)

場所

京都市地域リハビリテーション推進センター
1階 研修室

内容

第1部 講演(午後2時05分～午後2時50分)

講師 みさわ **三澤** けいこ **慶子氏**(ライター)
とどろき **轟** ゆきお **夕起夫氏**(映画評論家)

第2部 シンポジウム(午後3時05分～午後4時15分)

登壇者 { みさわ **三澤** けいこ **慶子氏** とどろき **轟** ゆきお **夕起夫氏**
しみず **清水** かずし **一史氏**(京都障害者就業・生活支援センター)
しみず **清水** さとこ **聡子氏**(京都障害者職業センター)
みやがわ **宮川** なおたか **直山氏**(u&n 障害者就職支援センター)

無料
定員100名

事前申込み制

詳細は裏面を
ご覧ください

申込み・問い合わせ先

京都市地域リハビリテーション推進センター
相談課

TEL 075-823-1666

FAX 075-842-1541

主催：京都市(地域リハビリテーション推進センター)

後援：一般社団法人京都府医師会(申請中)、一般社団法人京都府理学療法士会、一般社団法人京都府作業療法士会、一般社団法人京都府言語聴覚士会、公益社団法人京都府介護支援専門員会、一般社団法人京都社会福祉士会、公益社団法人京都市身体障害者団体連合会、NHK 京都放送局、公益財団法人京都新聞社会福祉事業団、KBS 京都、J:COM 京都みやびじょん、京都市教育委員会、社会福祉法人京都市社会福祉協議会



京都市
CITY OF KYOTO

京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



発行 京都市地域リハビリテーション推進センター
相談課 (令和2年1月発行)
京都市印刷物 第314808号

<講師紹介>

【三澤 慶子 氏】

北海道生まれ。ライター。SSコミュニケーション（現（株）KADOKAWA）にてエンターテインメント誌や金融情報誌などの雑誌編集に携わった後、映像製作会社を経てフリーランスに。映画「ココニイルコト」「夜のピクニック」「天国はまだ遠く」などの脚本を手がけられた他、今回の交流セミナーのテーマとなる「夫が脳で倒れたら」（太田出版）を執筆。半身に麻痺を負った夫・轟夕起夫氏の仕事復帰の際片手でも出し入れができるビジネスリュックが見つけれなかったことから、片手仕様リュックを考案、ブランド「WA3B」を立ち上げる。



【轟 夕起夫 氏】

東京生まれ。映画評論家。インタビュアー。2014年2月に脳梗塞を発症し、右半身が麻痺、左手のみのキーボード操作で仕事復帰し、現在もリハビリを継続しつつ主に雑誌やWEB媒体にて執筆を続けている。近著（編著・執筆協力）に「好き勝手 夏木陽介 スタアの時代」（講談社）「伝説の映画美術監督たち×種田陽平」（スペースシャワーボックス）「寅さん語録」（ぴあ）「冒険監督 塚本晋也」（パル出版）などがある。

FAX 申込用紙

| | |
|------------------|--|
| (フリガナ) 参加者氏名 | 電話番号 |
| 事業所・施設名・一般の方は居住区 | |
| 必要な配慮について | <ul style="list-style-type: none"> ・手話通訳必要 ・要約筆記必要 ・拡大文字資料必要 ・ルビつき資料必要 ・点字資料必要 ・車いす使用 ・その他【 |

申込方法：FAX（075-842-1541）または 電話（075-823-1666）

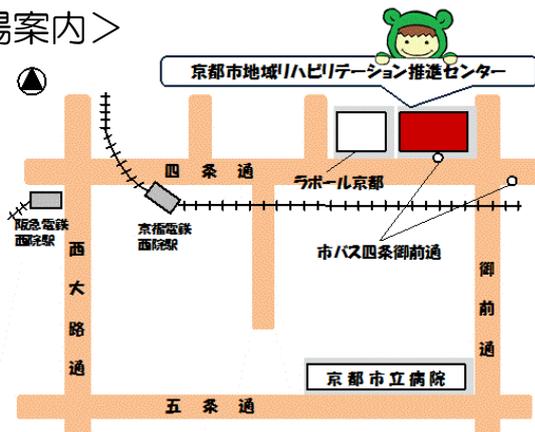
※電話受付は平日の午前8時30分から午後5時まで

申込締切：令和2年2月19日（水）

※手話通訳、要約筆記、点字資料などが必要な方は、2月7日（金）までに申し込みをしてください。

定員：100名（申込先着順）

<会場案内>



★京都市地域リハビリテーション推進センター★
1階 研修室（中京区壬生仙念町30）

京都市バス「四条御前通」下車すぐ
阪急電鉄「西院駅」から徒歩6分
京福電鉄「西院駅」から徒歩3分

※駐車スペースはございませんので、お越しの際は公共交通機関をご利用ください。